

クラダシ 会社概要

サステナビリティ経営支援プログラム
「先端技術とつながるイベント」



会社概要

会社概要

会社名	株式会社クラダシ
所在地	東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル5F
設立年月	2014年7月
代表者	関藤 竜也
従業員数	60名 ※2022年5月時点
主要取引先	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 江崎グリコ株式会社/住友商事株式会社/株式会社伊藤園 国分グループ本社株式会社

Mission

ソーシャルグッドカンパニーであり続ける

「もったいないを価値へ」

デコとボコをマッチングさせることで世界を豊かにする。

世の中に山積みになっている社会問題を解決するために設立したソーシャルグッドカンパニーです。
社会性、環境性、経済性に優れた活動をしていきます。

Vision

日本で最もフードロスを削減する会社

日本は国内消費食料の約6割を輸入に頼っているのにも関わらず、
世界有数のフードロス大国です。

「3分の1ルール」などの商習慣により、多くの食料をムダにしています。
わたしたちクラダシは1.5次流通革命を通して、フードロスを削減します。

受賞歴

▶2017～2019年

- ・「ソーシャルプロダクツ・アワード2017」優秀賞
- ・東京都環境局「チームもったいない」の「Saving Food」部門代表に抜擢
- ・環境省主催「第6回グッドライフアワード」環境大臣賞
- ・品川区「社会貢献製品支援事業」選定・認定

▶2020年

- ・第7回「食品産業もったいない大賞」審査委員会委員長賞
- ・「環境白書」「消費者白書」に掲載
- ・第3回「日本サービス大賞」農林水産大臣賞
- ・令和2年度「気候変動アクション環境大臣表彰」
- ・第21回「グリーン購入大賞」農林水産大臣賞
- ・第55回「社会貢献者表彰」
- ・「食品ロス削減推進大賞」消費者庁長官賞

▶2021年

- ・「Japan Venture Awards 2021」JVA審査委員会特別賞
- ・「High-Growth Companies Asia-Pacific 2021」ランクイン
- ・「第4回エコプロアワード」優秀賞
- ・東洋経済「すごいベンチャー100」選出
- ・「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2021 ジャパン」関東地区代表選出
- ・crQlr Awards「Systems to Save Waste Prize」「Circular Platform Prize」「Pivoting Prize」受賞
- ・「令和3年度消費者志向経営優良事例表彰」消費者庁長官表彰（特別枠）

▶2022年

- ・「脱炭素チャレンジカップ2022」優秀賞

食流機構

公益財団法人
食品等流通合
理化促進機構



背景

取り組むべきテーマ

日本のフードロス問題

日本のフードロス量は、年間522万トン。

これは、日本人が毎日お茶碗1杯分のお米を廃棄しているのと同等の量で、
世界の食料援助量420万トンの1.2倍にあたります。



日本の食品ロス
522万 トン

÷



お茶碗（毎日）
約**1億3000**万人分

÷



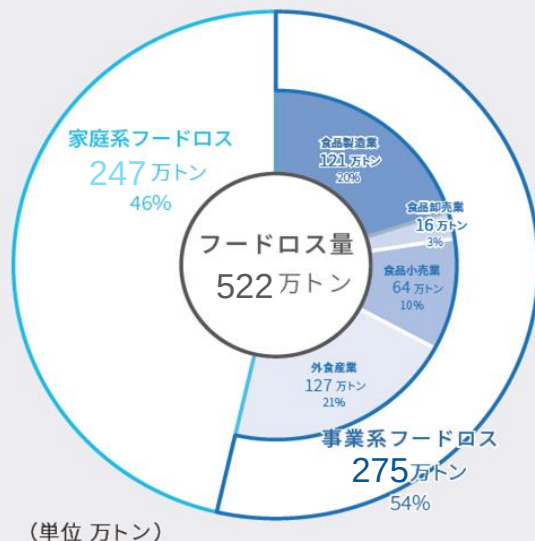
世界の食糧援助量
420万 トン × **1.2 倍**

③ 3分の1ルールとは

ちなみに、日本の商慣習の一つとして、賞味期間の3分の1以内で
小売店舗に納品する慣例、いわゆる「**3分の1ルール**」があり、
この「**3分の1ルール**」のもとでは、賞味期間の3分の1を超えて納品できなかったものは、
賞味期限まで多くの日数を残すにも関わらず、行き場がなくなり廃棄となる可能性が高いです。

取り組むべきテーマ

フードロス量の比較



日本全体のフードロス量

≡

1日 約 **132 g**

※茶碗 約1杯のご飯の量に相当

年間 約 **48 kg**

※年間1人あたりの米の消費量に相当



資料 | 総務省 人口推計 (平成29年10月1日)
平成29年度食料需給表 (確定値)

国民一人あたりのフードロス量

取り組むべきテーマ

提供する側の問題

処理経費約2兆円/年

(世界のフードロスにおける経済損失は、なんと約80兆円/年)



もったいなさすぎる。

提供する側は、ブランド価値を守るためにこれまで廃棄をしてきている。
一方、手塩にかけて育てた大切な商品を捨てることに心を痛めている実態がある。



もったいなさすぎる。

消費者の問題

短い賞味期限でもお手頃に購入出来ればよいと思っている。
何かしらの形で、社会貢献活動が出来たら良いと考えているが、
どうすればよいかわからない。



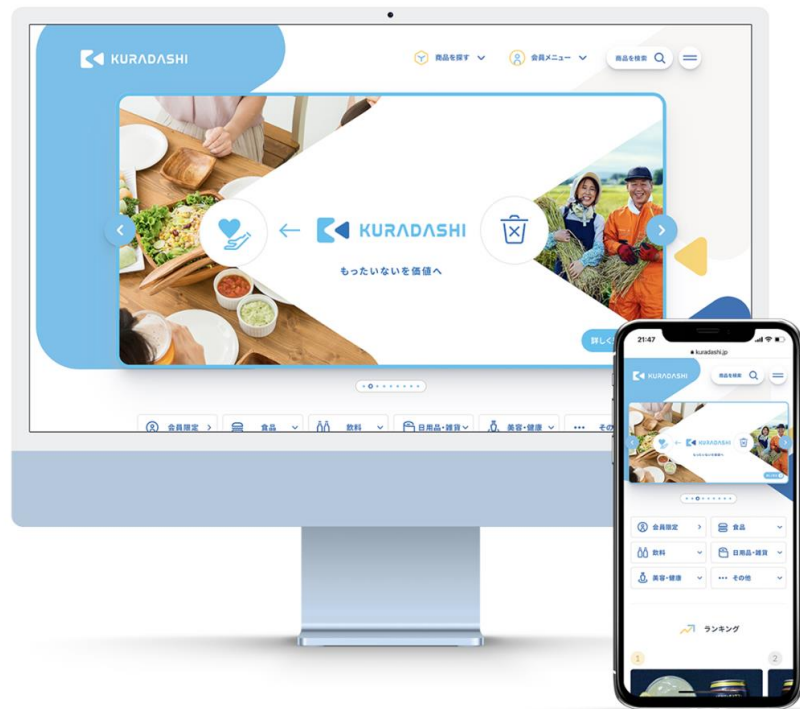
もったいなさすぎる。

事業紹介

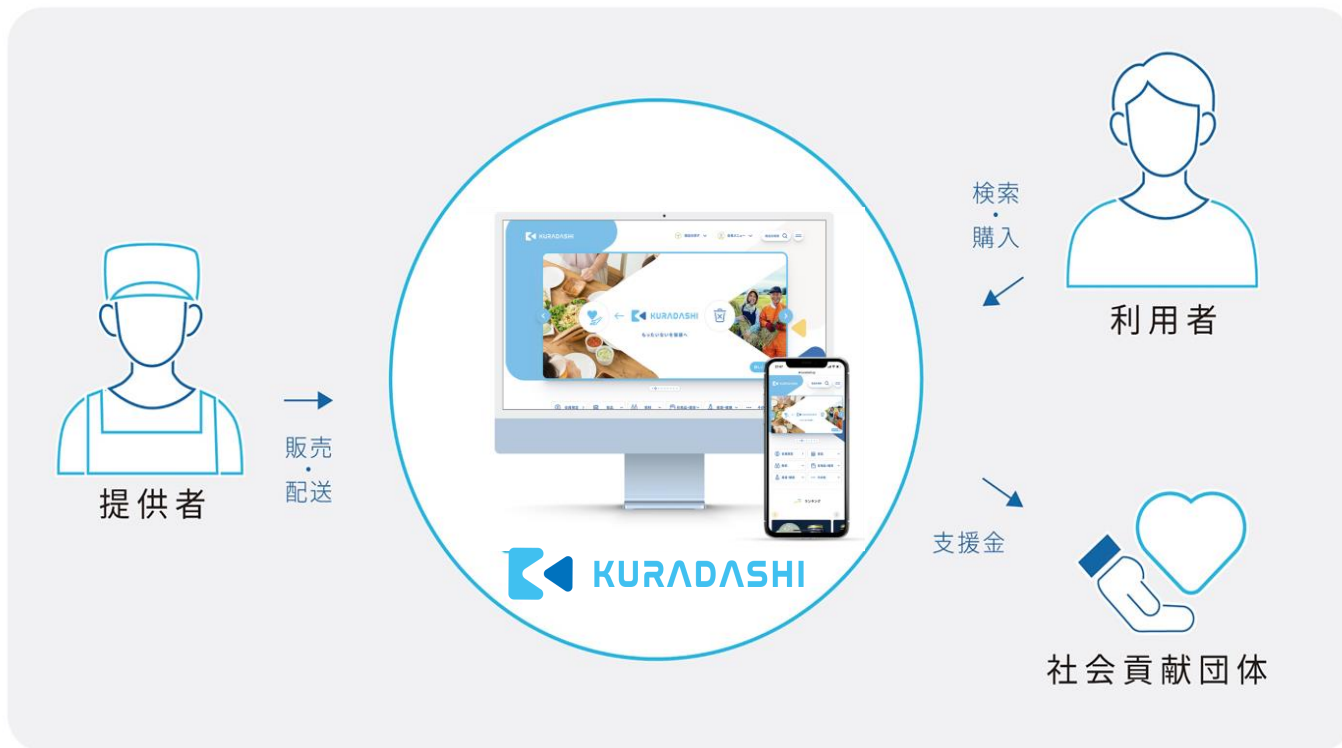
社会貢献型ショッピングサイト
フードシェアリングプラットフォーム



あらゆる工程で発生する食品ロスを
オンラインでマッチングすることで削減し、
利用者は手軽に社会貢献ができます。



KURADASHI メソッド



実際の商品の掲載イメージ



NEW

カット野菜を加えるだけ「たっぷり豆スープの素(タイ風生姜コ
コナッツ味)」20個

カット野菜を加えるだけ「たっぷり豆ス
ープの素(タイ風生姜コナッツ味)」
20個

¥ メーカー協賛価格 **1,980円(税抜)**

1個あたり99円(参考価格4,200円)

🕒 販売期限 2021/5/22 23:59 まで

📦 支援金額 **60円**
支援先: 認定NPO法人 国連WFP協会
※メーカー協賛価格に含まれます

原則としてご購入から10日以内に出荷いたします。賞味期限
内にお届けいたします。

セット数 個

※送料は購入セット数によらず
一律です。

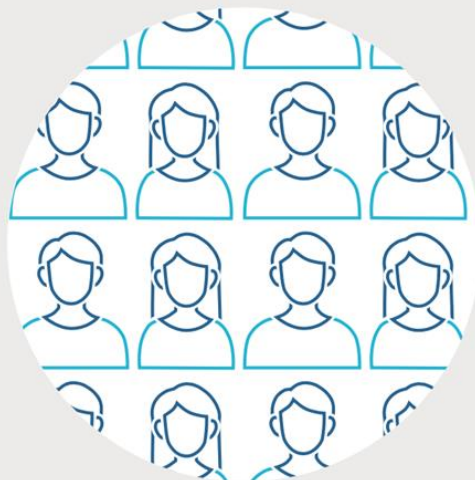
合計 **1,980円**

🛒 **購入する** ➡



累計商品数

5万品



利用者数

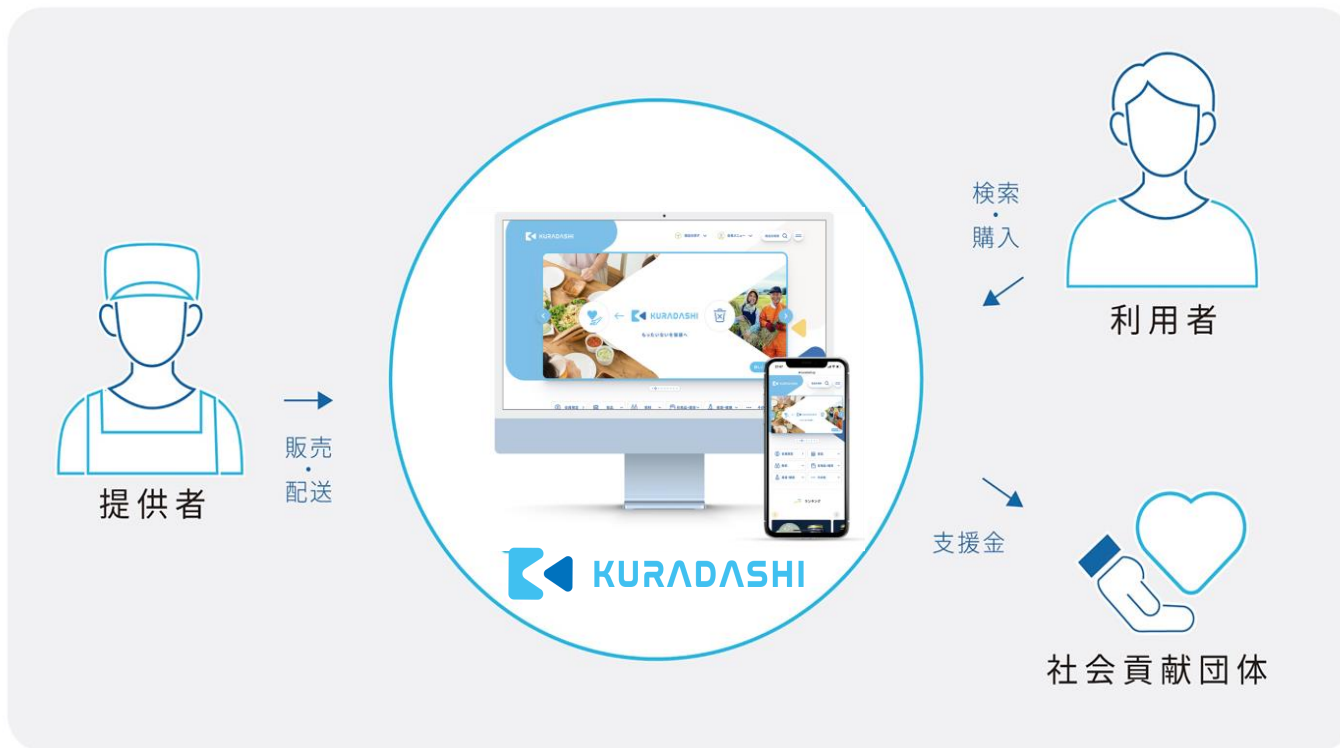
34万人以上



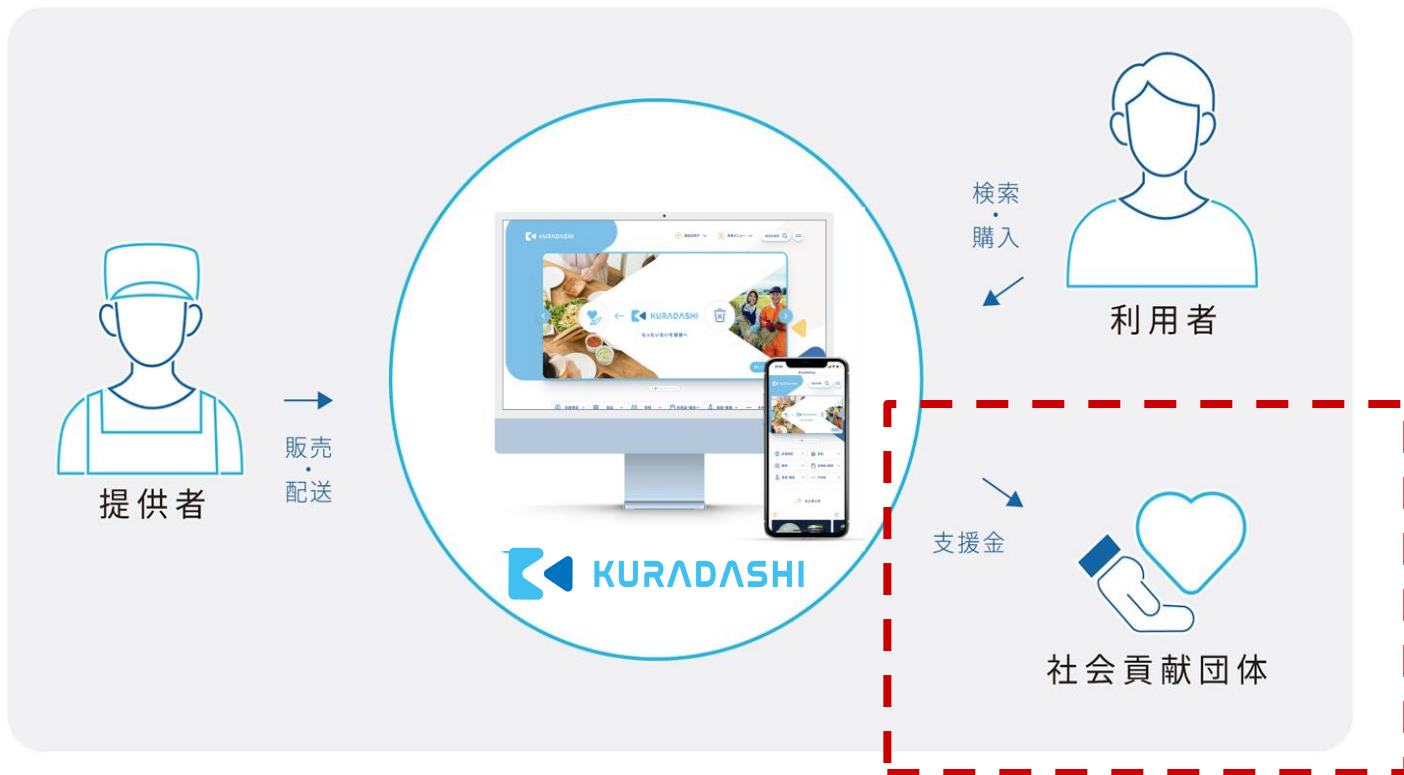
協賛企業数

990社以上

KURADASHI メソッド



KURADASHI メソッド



フードロス削減による効果



フードロス削減量

21,641 トン



CO2削減量

55.4 kt-CO2



経済効果

67 億 876 万円

KURADASHI 支援総額

80,195,799 円

クラダシ基金： 地方創生

人手不足で収穫できない農家に学生をインターンシップとして送ることで、一次産品の未収穫廃棄品をレスキュー。収穫できた農作物をKURADASHIで販売し、支援金が増えることで人手不足による未収穫による残りをさらに減らすことが出来るエコシステム。

クラダシチャレンジは鹿児島県の種子島と与論島、香川県的小豆島と高知県北川村にて計5回実施。

得られるメリット

- ・ 地方労働力の提供
クラダシチャレンジ（インターン）
により学生派遣
- ・ 学生の食育や
フードロスの削減
フードロス削減に意識の高い学生の
食育・体験
- ・ 収穫商品の再流通
学生の収穫した商品をKURADASHIで
流通（農家の収益増加）



レポート：<https://www.kuradashi.jp/fund>

クラダシ基金： フードバンク支援

フードバンクの課題である公平性、安全性、安定性の担保をクラダシが担う
ことにより円滑な流通網の実現



・ 公平性

日本国内にあるフードバンクに対して、特定の団体への寄付が偏り各団体の公平性が担保されない課題をクラダシが解決します。

・ 安全性

各団体による倉庫管理が不十分(規模・冷凍冷蔵機能不足)であるため、メーカー商品の提供後に食の安全を担保します。

・ 安定性

各団体は安定的な配送スケジュール(例えば毎週配送する等)を希望する中で、メーカーの配送対応の安定性を実現します。

自治体とのパートナーシップ

【連携協定締結自治体】

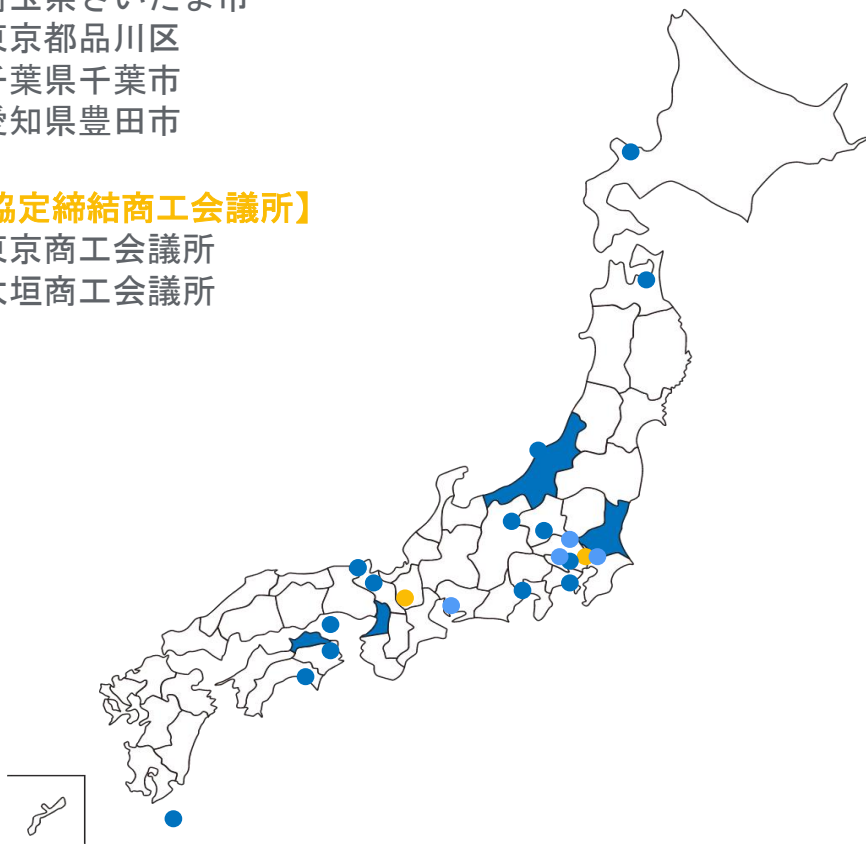
- 大阪府
- 香川県
- 茨城県
- 新潟県
- 東京都大田区
- 神奈川県横浜市
- 新潟県新潟市
- 群馬県富岡市
- 鹿児島県西之表市
- 静岡県静岡市
- 徳島県徳島市
- 長野県松本市
- 京都府京丹後市
- 京都府京丹波町
- 北海道仁木町
- 青森県南部町
- 香川県小豆島町
- 高知県北川村
- 沖縄県石垣市

【パートナー企業・認定企業】

- 埼玉県さいたま市
- 東京都品川区
- 千葉県千葉市
- 愛知県豊田市

【連携協定締結商工会議所】

- 東京商工会議所
- 大垣商工会議所



提供者様がKURADASHIを使う3つのメリット

01. 廃棄 コスト削減

これまで商品を廃棄することでかかっていたコストを、クラダシに商品を販売していただくことでコストを利益に変えていただくことが可能です。

02. ブランド 向上

クラダシに商品をご納入いただくと、現在注目されているSDGs12.3に貢献する取り組みになり、社会問題を解決しようとする企業としてのブランド価値が向上いたします。

03. 手離れの 良さ

クラダシに商品を掲載していただく為の掲載対応や製品の郵送手配、実際に販売を行った後のお客様対応までクラダシで全て対応いたします。

食品業界企業様以外との連携

